

I. 動物考古学とは

遺跡から出土した骨の同定・分類を行い種ごとの最小個体数や部位別偏りを明らかにすることで、食糧資源の獲得技術、環境、気候、食性、集落の空間利用・他集落との交流などを考える。

発掘現場 骨や土壌サンプルの取り上げ。 水洗選別など。

水洗選別法・フローテーションによって通常の発掘方法では見のがしがちな微細な遺物(石器製作に伴う微少な剥片・ガラス玉・小魚の骨・草木の実)を取り出す

整理室 種の同定と記録。

記録内容	出土遺構	層位	大分類()	小分類(種)	部位名	左右	部分1
部分2		成長度	切痕や火熱の有無	その他の特徴	時代		など

出土骨から情報を引き出す

- 1 種 骨の形からウシ、ウマ、イヌ、マダイ、クロダイなどの種を特定する。
- 2 年齢
 - (1)哺乳類は歯の萌出や咬耗から年齢を推定。
 - (2)哺乳類・鳥類 若獣期は骨端関節面が分離する。成獣になると骨端が癒着(化骨化)。
化骨化の時期は部位ごとに異なることから年齢の推定に利用。
- 3 性別
 - (1)牙、角などの雌雄差。
- 4 捕獲・死亡した季節
 - (1)渡り鳥、回遊魚、鹿の落角など種特有の季節的行動
 - (2)歯や貝殻に刻まれた成長線など
- 5 病変
 - 骨折・歯槽膿漏
- 6 解体・調理法
 - 表面の解体痕から解体の道具や調理法を推定。
 - 骨の表面の変化により調理法を知る
 - 焼く →茶色から黒色化。白く灰化 煮る →表面が溶け、多孔質になる。
- 7 祭祀 特異な出土状況
- 8 交流 出土部位の偏り

Ⅱ. 福岡市の肉食文化

博多遺跡群(古代末から近世)を中心に。

弥生時代 サメ、ウニ、クロダイ、コチ、ギギ、フナ、カニ、カエル、イノシシ、シカ
古墳時代 ウマ(東光寺剣塚古墳周溝)

博多遺跡群から出土した動物たち

哺乳類 海獣類(イルカ類、クジラ類、アシカ)、ウシ、ウマ、イノシシ(ブタ)、シカ、イヌ、ネコ、サル、アナグマ、ノウサギ、ネズミ類

若いウシ3頭を1度に解体した例もある。→大量の肉を消費

鳥類 ツル類、サギ類、キジ、ニワトリ・キジ、ガン・カモ類、アビ類

※ニワトリ・キジ類や干潟や田畑に飛来するガン・カモ類が多く出土。

魚類 サメ類、マダイ、クロダイ、ヘダイ、チダイ、フェフキダイ科、イシダイ科、ニベ科、カジキ亜目、サバ属、ヒラメ、アジ、マグロ、フグ類、ウシサワブリ、

※淡水魚がほとんど出土しない。

爬虫類 ウミガメ科、リクガメ科、スッポン

ウミガメは骨の他に鼈甲(タイマイの鱗板)か出土

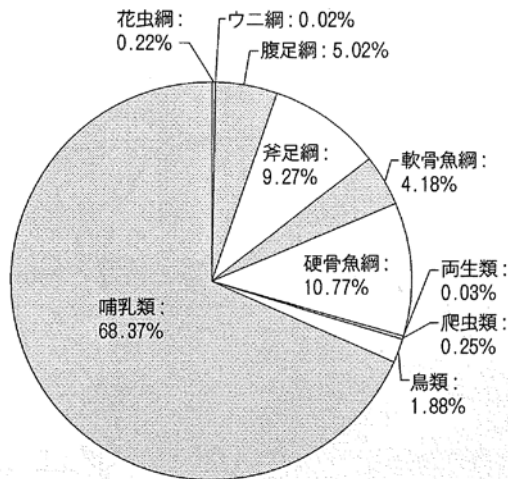
両生類 カエル(出土例少ない 176次)

貝類 岩礁系 アワビ類、サザエ、カキ、イガイ、マツバガイ、タマキガイ、

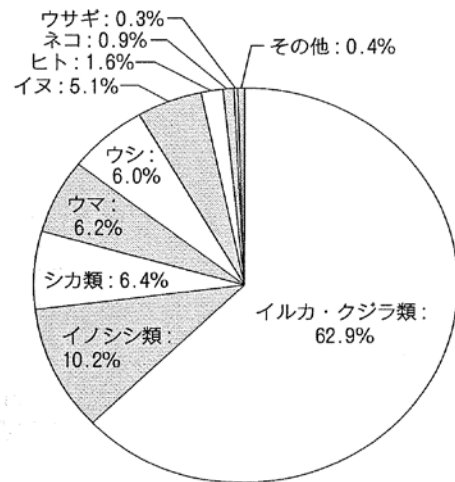
砂泥系 アカニシ、テングニシ、ナガニシ、ウミニナ、シジミ、オキシジミ、ハマグリ、チョウセンハマグリ、ハイガイ、アゲマキ、

※アカニシ、カキ、アワビが多い。アサリ、シジミ、サザエは少ない。

その他 ウニ類、カシパン、珊瑚類なども出土。



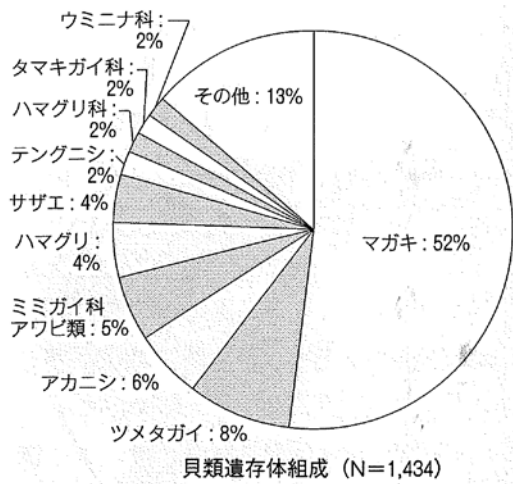
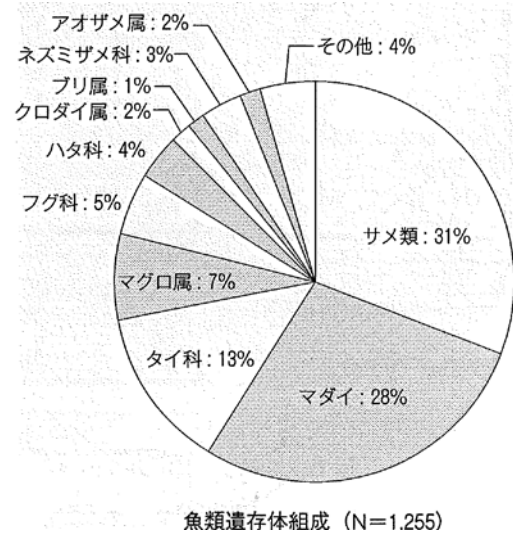
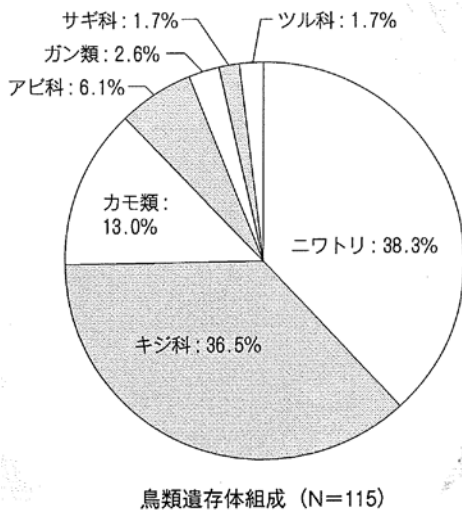
博多遺跡群動物遺存体組成 (N=10,820)



哺乳類遺存体組成 (N=5,111)

小さな骨を見逃しているため
実際には硬骨魚の割合が増える

博多遺跡の特徴としてイルカ・クジラ類が多い



Ⅲ. 骨角器

ビニールやプラスチックが普及するまでは皮革・骨製品は必需品だった。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 装飾具 簪、櫛、 | 武器 弭、刀柄頭、返り角、鏢 |
| 生産用具 編針、擬餌針、へら | 生活用具 耳搔き、ボタン、ブラシ、蓋 |
| 馬具 | 遊具 独楽 |
- 用途不明なものも多い。

骨角器の材料

- | | |
|-----------------|--------------------|
| シカ 角、中手・中足骨 | ウシ 角鞘、橈骨、脛骨、中手・中足骨 |
| ウマ 橈骨、脛骨、中手・中足骨 | イルカ・クジラ類 下顎、その他 |

骨角器の端材が出土するので博多遺跡内で骨角器を製作していた。



シカの角と骨角器



装身具(筭) 上 大型鳥類の脛足根骨製
下 シカ中手骨・中足骨製

IV.福岡地域のヒトと動物

筑前続風土記(1709) 貝原益軒がまとめた黒田藩内の地誌。土産考の巻に動植物を記載

筑前國産物帳(1738) 8代将軍吉宗が諸藩に命じて作らせた産物、俗名、形状の報告書の控え

筑前國産物繪圖帳 筑前國産物帳からの抜粋で一部に絵を記載

肥前国産物図考(唐津藩)

その他動物に関する絵巻物

『酒飯論絵巻』、 洛中洛外図、 一遍上人絵伝など

参考文献

『考古学と動物学』 西本豊弘・松井章編 同成社

『考古学と自然科学』 第13号

遺跡出土ニホンジカの下顎骨による性別・年齢・死亡時期査定法 大泰司紀之

『中世都市 博多を掘る』海鳥社

『新修 福岡市史』資料編 考古3 富岡直人・松井章・丸山真史・屋山洋

『図解・日本の中世遺跡』東京大学出版会